

令和4年第2回大田市教育委員会定例会会議録

日 時：令和4年2月24日午後1時55分～午後3時27分

場 所：大田市役所2階第1会議室

出席委員：教育長 武田 祐子

委 員 梶 伸光、竹下ちとせ、仲野義文、福間信隆、木村貴子

欠席委員：なし

傍 聴 者：0名

事務局出席者：

森教育部長 勝部総務課長 坂井学校教育課長 後藤社会教育課長

縄石見銀山課長 田村給食センター長 湊人権推進課長

西上総務課長補佐（会議録作成者）

1. 開 会 （司会・進行 森部長）

森 部長 ただいまから令和4年第2回大田市教育委員会定例会を開催します。

2. 会議録の承認について

森 部長 第1回会議録の承認について、会議録の訂正等ございましたらお願いいたします。ございませんか。

委 員 （はい）

3. 経過報告

森 部長 次に、教育長報告に移りたいと思います。教育長お願いします。

教 育 長 （資料にて説明）

森 部長 教育長報告でした。よろしいでしょうか。
委 員 (はい)

4. 議題

森 部長 議第10号「大田市立学校設置に関する条例の一部改正について」
総務課長お願いします。

勝部課長 (資料により説明)
森 部長 よろしいでしょうか。
委 員 (はい)

森 部長 議第11号「大田市日本語指導検討委員会設置要綱の制定について」
学校教育課長お願いします。

坂井課長 (資料により説明)

森 部長 国・県からの支援をいただくには会議の設置が必要ということ
です。

福間委員 対象児童の保護者の思いと、学校の思いにブレが生じることがあ
る。保護者に対しての対応が大事ではないか。

坂井課長 総務部総務課の国際交流員に学校と親御さんの間に入っていた
だき、文化の違い等も説明しながらご理解していただくように考
えています。

森 部長 他にございませんか。
委 員 (はい)

森 部長 議第12号「大田市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に
関する規則の制定について」社会教育課長お願いします。

後藤課長 (資料により説明)

森 部長 質問ございませんか。よろしいでしょうか。
委 員 (はい)

森 部長 議第13号「池田小学校の統合について」総務課長お願いします。
勝部課長 (資料により説明)

森 部長 来年度はそのまま、複式から単式へスムーズに移行出来るよう
に、保護者の皆さんと協議しながら、どうすれば一番いいのかとい
う事で、令和5年からと決めたところ
です。
よろしいでしょうか。

委 員 (はい)

森 部長 議第14号「大田市総合教育会議について」総務課長お願いします。

勝部課長 (資料により説明)

仲野委員 中長期的な計画が立てられない状況に来ている。計画の立て方、在り方をどう考えたら良いのか整理しないと、せっかく立ててもひっくり返してしまう事になる。我々も計画を立てる時は意識してどんな方針で立てて行くのか議論しないといけない。

最近、メタバースという仮想空間が話題になっています。学校もバーチャルな学校があって、そこに子ども達が入っていくという教育があります。しかし、人間としての教育を考えた時に本当にいいのか、本来、学校ってどういうものなのか本質的な議論をもう一度やっておかないといけない。

教育長 この土日、不登校の子供達がネット上の作られた学校に進学するという、全国で初めての提案があり、オンラインで5時間位参加しました。話を聞く中でeスポーツといったネット上の部活に子どもたちが参加・体験出来る形をとっていました。そういう子どもたちにとっても学校って何か、最低限どういう力を付けるのか考えさせられました。石見銀山シンポジウムと併せてこの2日間、今後、大田市の教育はどうあれば良いのか、今はどういう事を求められて、それが本当に魅力的なものなのか、その為に何をするのかをみんな考えてみたいと思いました。結論の出ない話し合いになるかも知れませんが、様々な価値観を出してみるというのも一つの提案になるし、会議をする意義にもなると思います。

仲野委員 ネガティブな議論でなく、それを乗り越える為にどんな事を考えたら良いのかという議論の方が良いのではないのでしょうか。総合教育会議はオープンになるわけですから、本当にこの会議の中で未来に向けて教育委員も含めてどういう風に考えているかという事を議論した方が良いのではないかと思います。

教育長 前回提案したように、令和4年度は色々な立場の方に集まっていただけ夢を語る協議会を作ろうと思っています。将来的には、そこに様々な人に参加していただいてみんなで大田市教育のあり方を議論が出来たらと思っています。

それを踏まえ、今年度の総合教育会議をどうするのか考えた時に、これまでとは違う形でも良いのではと思って担当課と協議しました。この度、私は、この会議は初めてですが、今まで参加されていた委員の方々は、会議をどう思っておられたのかも含めてここで話を聞かせていただければ幸いです。

- 竹下委員 「ウイズコロナ時代における学校運営について」を考える事がすなわち魅力ある教育であるとか、今後の学校のあり方を含めて考えて行くことになるのではないのでしょうか。
- 今、学校の状況がどうなのか、その中でどの様な可能性があるのかとかそういった所を現場の方からも出していただき私達もそれを聞く事によって考えて行く、その上で外部の意見を伺う事ができないかと思えます。
- 梶 委員 学校のあり方については、令和8年度までを見越して立てられ、それに照らして進められている。学校のあり方が始まって2年目なのに、ここで新たな方向について総合教育会議の議題とするのは、時期尚早ではないでしょうか。
- 仲野委員 学校のあり方というより教育のあり方のほうが良いのでは、今回社会教育の公民館を始めとして大きく変わって行こうという事もあり教育というのは学校だけでなく一般の方々も含めて、もっと広い意味での教育というものを捉えて議論するというのもありかと思えます。
- 梶 委員
勝部課長 議会へも学校のあり方について説明しているのですか。
- 議会にも計画の内容・考え方について説明させていただいております。ただし、施設の老朽化が想定上に進んでいるという状況がございまして、根本的に対応しないといけない部分が見受けられており、あわせて出生数の減少に応じてこれまでの計画で良いのかという考えがございまして。
- 森 部長 昨年の段階では、池田小学校において来年度1人入学生がおられるのが前提でしたが、結果的にゼロとなりました。急な出来事となって初めて協議して行くと後手後手になってしまう。もう一回、何かのテーブルにあげてこういう状況になって行く事をお伝えしないといけない。ただ、総合教育会議の中でこれを議論するのかというところではなく、変わりつつある教育環境に対して議論して行くのは非常に良いと思えます。これからどういうふうに変わっていくのか分かりませんが、意見を出し合って行こう、というのは非常に大切な事だと思えます。
- 仲野委員 学校として施設が要るのかというような議題としても良いと思えます。結論でこうだという事でなく、それを通して学校とか施設のあり方というものを議論して行くとゆう事、乱暴な議論に見えるかもしれませんが学校にとって施設とは何か、施設は子供達だけの物か、地域に開放しないといけないのか、乱暴なテーマでも良いかもしれませんが本質的な議論が出来る方が良いのでは、その方

が逆に我々も言葉を選んで言わなくても良い、決められたものでは正直、決まった事を言わないといけないという事もあります。むしろその決まった事を言わなくて良いという方が正直な意見です。そういう方向で、中で検討して行きます。

森 部長
教育長
福間委員

いくつか案を出していただいて検討してみたいと思います。

学校が始まったのは、必要性に応じて学校組織が出来上がって来たのではないか。その時の出発点とか。コロナ禍でこの2, 3年間やるべき事がやれたのか、やれて無かった事があったのか、そういった事が一番話し易いのではないか。学校再編は頭が痛い。地域の人の思いがあるので。

木村委員
福間委員

地域に学校が無いと、どんどん過疎化が進みやすくなる。

地域に学校が出来たあの時代には、1つの集落に子供達の教育の場面を作るというものすごいエネルギーがあったから出来上がった。今は逆にそれを削ぎ落としていくという話になっている。

木村委員

大人数にすれば良いのかといっても、そういうのが苦手な子供もいる訳で、あり方を考える時に議論されて来た。

竹下委員

総合会議というのは、これまで教育委員会は教育委員会で教育の方針を作っていたのを、市長と対話する事によって市全体の教育の方向性を考えて行こうとするというのが、そもそもだったという風に思います。それでどういう教育目的を持って行こうかと皆で話し合ってきたのが今までの総合教育会議だと思うのですが、今また新しい、教育とは、学校とはという風に話し合うと、今迄の総合教育会議の持ち方と異なって来るのではないかと思います。

教育長

根拠法(国の法律)があると分かりやすいですが、今日は準備してありませんか。

勝部課長

申し訳ありません。準備しておりません。

竹下委員

それに基づいてあり方とかを私達は話し合ってきたと思います。ただ、今までの会の持ち方を大きく変えても、もちろん良いと思います。

梶 委員

始まりは、いじめによる自殺があってそれへの対応が教育委員長、教育委員会の組織、市長部局とかどちらが出るのかと言う問題が生じたため、市長を中心に一本化へ変わり、1つの事に素早く対応して大事な命を守って行こうという事で組織、教育委員会制度も変わり総合教育会議が位置付けられました。ここが原点になる。

教育長

教育委員会が独立していた時から比べ、現在は、市長が教育長を指名してパイプとしては太くなりました。これまで、内輪で協議していたものが市長を交えて大田市の教育はどうあるべきかを考える

会議になったと思います。会議の内容等は市長にも提案しながら進めて行きたいと思います。提案の中には先程の意見があっても良いのかと思っています。

森 部長 市長ともテーマについて教育委員会ではこういうご意見がありましたと説明しながら近日中に事前準備も出来ると思いますので又ご提示したいと思います。
続きまして、議第15号「大田市教育委員会表彰について」お願いします。

勝部課長 (資料により説明)
森 部長 よろしいでしょうか。
委 員 (はい)

森 部長 議第16号「令和4年度学校給食費について」給食センター長お願いします。

田村センター長 (資料により説明)
森 部長 よろしいでしょうか。
委 員 (はい)

森 部長 議第17号「令和4年度教職員人事異動について」
こちらは、非公開の議案とさせていただきます。
【教育長、教育委員以外は退席】

5. その他

森 部長 報告事項、①「令和3年度補整予算(案)について」
担当課長 (資料により説明)

森 部長 よろしいでしょうか。
次に②「令和4年度当初予算(案)について」

担当課長 (資料により説明)
森 部長 よろしいでしょうか。

次に③「温泉津図書館の土曜日休館について」
後藤課長 (資料により説明)

竹下委員 このメンバーはどういった方々になりますか。どの位の人数で
後藤課長 メンバーは図書館運営協力者と10人以内を考えています。

森 部長 よろしいでしょうか。
次に④「学校給食費の不納欠損について」

田村センター長 (資料により説明)

森 部長 ご質問等ありませんか。よろしいでしょうか。

委員 (はい)

6. 閉会

森 部長 本日予定しておりました議題及び報告事項は以上でございます。
それでは第2回の大田市教育委員会、定例教育委員会を終了させていただきます。次回は3月22日火曜日午後2時からです。

以上の会議録は、第2回の会議録として承認した。

令和4年4月28日

教育長 武田 祐子

委員 梶 伸光

委員 竹下 ちとせ

委員 仲野 義文

委員 福間 信隆

委員 木村 貴子